

新型コロナ感染防止対策

【実施要領】

1 会場校（大学）の指示に従って、大会に参加する事を前提とする。

2 JVA バレーボールガイドライン（2020、0707）に則って実施する。

（大会運営者も選手も、別紙を必ず参照し感染対策に全員で認識を深めること。）

3 参加者は、事前に下記の書類を揃えて大会本部の参加許可を得ること。また、関係書類に不備のあるチームは出場を一切認めない。

(1) 参加者名簿一覧表（氏名、住所の記入があること。）

(2) 大会参加者向け健康チェックシート兼保護者同意書（*4を熟知ください。）

(3) 大会当日健康状態報告書（*6を熟知のこと。）

4 選手及びチームの関係者は、大会参加2週間前からの体温、咳やのどの痛みの有無について記録を行い、極力県外へ移動等は控えやむを得なく県外へ出た場合には、記録しておくこと。

5 大会に向けて感染防止対策の準備等が整わない場合、あるいは感染の疑いが出るなど大会の安全管理に支障の出る恐れがある場合は、即刻大会を中止または延期とする。

6 大会当日は、チーム管理者が責任をもって（4）大会当日健康状態報告書を受付に提出し、報告を行うこと。

7 大会には、マスク、消毒液等、感染予防上必要とするものは、各チームで準備すること。

8 試合に使用するボール、フラッグ、IF の用具、その他（チームベンチなど）については、試合前後に必ず消毒を行い、セット間については可能な範囲で消毒作業を行うこと。

9 補助役員は、原則マスク着用とするが、会場内の気温が上昇し熱中症への危険性がある場合には、各自の判断で脱着を行うこと。

10 大会終了後2週間は各自で体調管理及び行動の記録を可能な限り続け、万一新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、遅滞なく大学側と学連（学連委員長、理事長）へ報告すること。

発症者が出た場合には、学連会長の指示のもと、理事長、委員長が各チーム（大学）と連携を図り、最大限の拡大防止に取り組むこととする。

新型コロナ感染防止対策

【当日の流れ】

1 会場の出入口は一か所とし、下記の流れで出入りを制限する。

- (1) 非接触型検温器で検温 (2) 手指消毒

2 出場者の受付に関する事

- (1) チーム受付 [提出物の確認 3- (1)、(2)、(3)、(4)]

* 参加者名簿一覧表の人数、健康チェックシート（保護者同意書）の枚数が一致すること。

- (2) 大会当日健康状態報告書を受取り、チーム責任者へ出場に際し何ら問題がないことを口頭確認すること。

3 大会関係者の一般受付

選手以外の方で、会場に出入りする方（県協会役員、大会役員など）は、入場者カードに氏名、住所、連絡先を記入いただき受付に提出すること。

また、一度外に出て再度入場する際には、入場者カードの提出有無を確認し、検温、

手指消毒は徹底して行い入場を認めること。

4 試合の進行について

- (1) 対戦相手、審判、補助役員、その他関係者による接触（握手など）は、一切行わない。選手交代の際にも、選手同士が接触しないよう副審で管理する。
- (2) 主審・副審・補助役員を行う者は、試合前、セット間、試合後の消毒作業などのコート管理を徹底して行い、試合進行に不安がある場合には、本部に相談し対処すること。
- (3) フロアには選手及び大会運営関係者以外の立ち入りを一切禁止とする。
- (4) 感染予防対策の都合上、試合時間を短縮する必要があることから、最終のセットは（ 点）からのスタートとする。

5 表彰について

- (1) 感染予防対策の都合により、表彰式は実施しない。
- (2) 順位が決定した試合の終了直後、コート上において表彰を行う。
- (3) 男女優勝チームは写真撮影を行うため、ユニフォーム又は統一された服装で撮影すること。（広報活動に使用予定）

6 退館について

試合が終了したチームは、本部の指示を得て可能な範囲の会場内の美化及び清

掃作業を行い、速やかに会場から出ること。(集めたごみ、チーム内の弁当などで
出たゴミは必ず持ち帰ること。)

何かつけたしたいことあったら、このページ使って！

何かつけたしたいことあったら、このページ使って！

感染防止策チェックリスト（主催者向け）

2020.0707更新版 別添1

全般的な事項

- 感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をチェックリスト化し掲示する
- 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認する
- 障がい者や高齢者など利用者の特性にも配慮する
- 感染が発生した場合に備え、参加当日に提出を求めた書面は保存期間（1ヵ月以上）を定めて保存する
- イベント後に参加者から新型コロナウイルス感染症発症の報告があったり、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告されたりした場合の対応方針について、施設の立地する自治体の衛生部局と事前に検討しておく

大会等の参加募集時の対応

主催者が参加者に求める感染拡大防止のための措置としては、以下のものが挙げられます。

- 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求める（大会当日に書面で確認を行う）

- 体調がよくない場合（例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 過去14日以内に入国制限／観察期間が必要な国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクの持参を求める（参加受付時や着替え時等のスポーツをしていない際や会話時にはマスクを着用する）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する
- 他の参加者、スタッフ等との距離（できるだけ2 m以上）を確保する（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- 大会開催中は大きな声で会話、応援等をしない
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従う
- 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者へ速やかに報告する

当日の参加受付時の対応

- 受付窓口には、手指消毒剤を設置する
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼びかける（発熱者の入場制限等）
- 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽する
- 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行う
- 受付を行うスタッフには、マスクを着用させる
- インターネット等を活用した受付の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の

別紙

授受等を避けるようにする

- 当日の受付のほか、大会前日の受付を実施し混雑を極力避ける
- 参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求める
- 全員の氏名、年齢と代表者の住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取り扱いに十分注意する
- 大会当日の体温大会前2週間における以下の事項の有無（全員分）
- 平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）
- 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状、嗅覚や味覚の異常
- 体が重く感じる（だるさ、倦怠感）、息苦しい（呼吸困難）、疲れやすい等
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 過去14日以内に入国制限／入国後の観察期間が必要な国、地域等への渡航や当該在住者との濃厚接触有無

大会参加者への対応

- マスク等の準備
- 参加者がマスクを準備しているか確認する
- 参加の受付、着替え、表彰式等の競技を行っていない間には、マスクの着用を求める
- 大会参加前後の留意事項
- 大会前後のミーティングや等においても、3つの密を避ける
- 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮する

大会主催者が準備すべき事項の対応

- 大会会場・競技備品類
- 大会を屋内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行う
- 屋外での開催においても、テント等で密閉が生じないよう留意する
- 定期的な換気に加え、空調の活用及び扇風機の併用（熱中症リスクにも備えること）
- 試合球は複数個用意し、こまめに消毒・清掃を行って交換しながら使用する
- フラッグ、得点板、モップその他備品類のこまめな消毒など衛生対応

- 審判員の笛の管理（不慮の接触を避け、電子ホイッスル等を活用する）
- 運営スタッフの体調管理
- 大会当日の体温

別紙

大会前2週間における以下の事項の有無

- 平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）
- 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状、嗅覚や味覚の異常
- 体が重く感じる（だるさ、倦怠感）、息苦しい（呼吸困難）、疲れやすい等
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 過去14日以内に入国制限／入国後の観察期間が必要な国、地域等への渡航や当該在住者との濃厚接触有無

- 式典等、運営の簡略化

- 試合前後の握手は一礼で代替する
- 開・閉会式、表彰式の簡略化対応
- 配付書類の廃止、電子化
- 書類の手渡しによる感染拡大を防ぐため、書類は極力電子化して配付する

- トイレ・手洗い場所

- トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）は、こまめに消毒する
- トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する
- 手洗い場には石鹼（ポンプ型が望ましい）を用意する
- 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
- 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する（手指を乾燥させる設備については使用しない）
- 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意する

- 更衣室、喫煙所、休憩・待機スペース

- 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける（障がい者の介助を行う場合を除く）
- ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じる
- 複数の参加者が触れる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）は、こまめに消毒する
- 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮する
- 喫煙所は屋外に設けるか換気の出来る空内に設置し、十分なスペースを確保する
- 十分なスペースを確保できない場合には人数を制限する

競技中の注意事項

- セット間での換気など適切な感染防止対策
- 試合前円陣やベンチでの集合時、できるだけ密集・接触を避ける
- 競技中のハイタッチは禁止。腕のタッチにとどめるも、できるだけ控えたい
- 競技中、靴底を手でさわらない
- ネット際などで、相手に向けた状態での発声は控える
- ベンチでは離れて座る。ウォームアップエリアでも密に気をつけ、私語は慎む
- タオル、水ボトル、アイシングバッグなどの共用禁止
- 補助スタッフの注意事項も明確にしておく

- 観客の管理
- 体育館の壁際通路など、観戦場所が狭いスペースに限られる場合は観客の入場許可を見合わせる
- 観客を入場させる場合には、体温チェックを行い、37.5℃以上の観客の入場はお断りする。
- 出入口付近通路に消毒剤を設置するほか、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席数を減らすなどの対応をとる
- 試合前後の一斉移動をコントロールする
- 内履きが必要な場合もスリッパの貸与は控えて、外履きを持ち込むための袋を持参するよう促す
- 大声での声援を送らないことや会話を控えるなど、応援ルールを各チームに周知する
- 会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知する

- ゴミの廃棄
- 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人はマスクや手袋を着用する
- マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒する

感染防止策チェックリスト（参加者向け）

2020.0707更新版 別添2

参加者が遵守すべき事項

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（利用当日に書面で確認を行う）
- 体調がよくない場合（例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参する（参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用する）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2 m以上）を確保する（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- 大会中に大きな声で会話、応援等をしない
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従う
- 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する
- 大会前後のミーティングや懇親会等においても、3つの密を避ける